

ネットで海外に 仕事依頼

世界106カ国
2万6000人以上の
人材

ワークシフト・ソリューションズ(☎03・6804・5020)は、ネットで海外の優秀な人材に仕事を依頼するクラウドソーシングサービスを展開。世界106カ国 2万6000人以上の人材が登録し、翻訳、市場調査など企業のグローバル化をサポートする。

「新興国には日本での留学経験があり、高学歴で優秀な人材がたくさんいます。この人材をうまく活用してグローバル化を進めるべき」と、話すのは荒木成則社長。日本初、海外取引にフォーカスした総合型クラウドソーシングサービスを行う。

企業は無料で会員登録し、ワークシフトのWebサイト(<https://workshift-sol.com>)から仕事内容を依頼。海外在住の複数の応募者の中から採用者を選び、正式依頼する仕組み。

日本語で外国人への仕事依頼が出来、決済通貨は円で、領収書・請求書も日本語でワークシフト・ソリューションズを通じて行うため、日本での取引と同様に簡単

ワークシフト・ソリューションズ

登録人材は、アジア地域を中心にした現地人、現地滞在の日系人など。「現地で仕事を持ち、兼業で仕事を受けてくれる優秀な人材も多いです」と。



クラウドソーシング
サービス

企業のグローバル化を サポート

職種は市場調査、デザイン、編集、翻訳など180種類以上。スキル登録者の20%は日本語を理解する。過去の仕事実績を☆で評価、どの応募者に依頼するかを決める参考になる。スポットの仕事なら3〜5万円程度で済むため、中小

企業の海外進出の強いツールになりそうだ。

生産者と連携!



神戸市のナッツ(☎078・599・7123)は、青果物を中心とした総

まちづくりの一役

関西大学が地域との交流拠点として設けた「関大前ラボラトリまち・かん114(いいよ) (☎06・4860・6135)では、学生、地元住民などが一緒にユニークなイ



イベントも開催、まちづくりに一役買っている。大阪府吹田市千里山東1丁目、関西大学の正門前にある関大前商店街の一角に平成27年6月にオープン。

「地域と大学の交流拠点で、相互理解を深めて関大生の自由なアイデアを実現するコミュニティスペースです」と、環境都市工学部学生の因田恭崇さんと松下航大さん。2階建て延べ60平方メートル。大学の教室を町につくろうという発想で始まったプロジェクト。ゼミや勉強会展示会、交流会、休憩と自由に使える。環境都市工学部、社会学部、政策創造学部、商学部の学生約10人が中心となって

ゼミやイベント

関大前ラボラトリまち・かん114

運営する。地元商店街、吹田市、学生、さらに大学教授も加わり、毎月2回協議会を開催、地域まちづくりを話し合う。開設以来、地元の小学生も参加した「ポップアウトタウン」、地元住民との「ペンキ塗りワークショップ」なども開催。地元住民の絵画教室、学生による写真展「関大百景」も開かれている。「景観の改善など商店街の活性化にも貢献している。学生と地域が一丸となって知恵を出している。

重いもの
1人で



らくらく

大洋精工

をメインにしてきたが、家と、約10年前かららくらくテコの原理を応用するくりの技術を活かした、を持ち上げ、その挿入して、300キロまで